

「知事は謙虚で明晰」

上野議員の一般質問に市長

上野議員は今議会の一般質問で、10月に誕生した米山新知事への市長の印象や期待をただしました。

市長は、「これまで2度ほど会ったが、コミュニケーションがとりやすい方だということも伝え聞いていたので、構えることなく胸襟を開いて話げできた。その中で、謙虚で誠実な人柄を感じるとともに、的確な理解と応答など、明晰な資質をお持ちの方と見受けた。このたびの高病原性鳥インフルエンザ感染事案でも、県を挙げて迅速かつ適切な対応がなされたことは、知事の場合判断とリーダーシップによるところが大きいものと捉えている」と答えました。

そして、「知事は『より良い協力関係と確かな信頼関係が築けるよう全力を尽くしたい。また、市町村長と定期的に話し合いの場を設け、相互の理解を深めたい』と述べておられるので、当市の状況や課題について改めて理解いただく機会を設けたい。また、県政が基礎自治体としての市町村との間でどのような関係性を築いていく考えなのかも話し合いたい」「現在、県でも来年度予算の編成中であることから、今後、具体的な政策も見えてくるだろうが、県政が上越地域に大きく目を向けてくれることを期待しながら、上越市が望むべきことをしっかりと訴えていきたい」と述べました。



49議案等のうち42議案等に同意 12月議会

議員や特別職のボーナスアップなど7つの議案等に反対

12月議会は15日に議案などの採決を行って閉会しました。

今議会には、合計49の議案など(市長提出議案38、請願1、同意案1、諮問7、議員発議案2)が上程され、日本共産党議員団はそのうち42の議案などに賛成しました。

市長提出議案の中には、議員や市長・教育長などの特別職のボーナスを0.1ヶ月分増額することに関する議案が6つ入っています。また、議員発議案の一つは、議員の厚生年金加入を求めるとする提案です。

いずれも、不況や賃金低下で苦しんでいる市民の感情からすると、理解を得られるものではありません。

そこで、これら7つの議案などに対しては、橋本議員が反対理由を述べる討論を行って反対しました。

医師不足対策求める請願は不採択

さいがた医療センターの医師確保を求める請願が市民団体から出されました。

国立病院機構さいがた医療センターは、「ここらからだの専門医療機関」として、精神疾患と神経・筋疾患、重症心身障がいに関する政策医療を行い、精神神経に関する総合保険医療機関として、質の高い医療の提供に努めている病院ですが、近年、慢性的な医師不足の状態が続き、日常的な診療にすら支障を来しかねない状況になっています。そこで同センターの職員有志などが、「市議会として県や国に意見書を」という請願を出したものです。

日本共産党議員団は、この現状の切迫性と請願者の切実な思いを受け止め、平良木議員が賛成討論を行って、全議員に賛同を促しました。

ところが、保守系会派は、「医師不足はさいがただけではない。特定の病院の件だけでの意見書は合意できない」として反対し、結局13対17で不採択となりました。

しかし、医師不足の現状を無視できないことから、議会としても何らかのアクションを起こすことについては、今後進めていける可能性を残しました。

市指定ゴミ袋に破れやすい不良品が84万枚

市はこのほど、市の指定ごみ袋(燃やせるごみ・生ごみ用)で、今年の3月から5月にかけて製造されたもののうち、破れやすくて使いものにならないものが約84万枚あったと発表しました。問題が発覚したのは7月中ですが、「販売を中止しても交換するだけの在庫がなく、製造を急がせた。十分な在庫ができたのでこのほど明らかにした」としています。

13日の市議会厚生常任委員協議会では、市からの説明に対して委員から、「対応が遅く、誠実さが無い」「組織としての危機管理、最初の対応が間違っている」「不具合の申し出があつた場合はレシートがなくとも事情を確認して交換措置をとるべきだ」「広報には謝罪もない。全世帯に詫び、袋を配るべきだ」「袋の製造が間に合わなかったら、レジ袋などでの緊急対応もできたはずだ」など厳しい批判が相次ぎました。

この問題は、単なる袋の製造不良というだけの問題ではありません。ゴミの有料化に伴って、袋の価格には市のゴミ処理費用の市民負担分が入っていますので、破れやすい袋をムダにした市民にとっては、処理費用もムダに支払ったこととなります。これは行政への不信感につながる重大な問題です。



説明に当たった土橋副市長は、「結果としてご迷惑をおかけし、不信をまねいた。心からお詫びする。今後、どうするかは改めて検討したい」と述べましたが、全市民への謝罪や回復措置を含めて、今後もしっかり注視していく必要があります。

日本共産党上越市議員団ニュース

No. 527 2016年12月25日

連絡先	橋爪 法一	090-5392-1961	(吉川区代石)
	橋本 正幸	080-1980-9855	(三和区鴨井)
	上野 公悦	090-7260-9407	(頸城区中柳町)
	平良木 哲也	090-1808-6919	(上中田)